

# 映画研究部

## 映画鑑賞レポート

### 平成28年度

### 6月分

新入部員募集中です。

映画評論や映画紹介、  
映画に関する随筆を  
発表してみませんか。

興味のある人は顧問まで。

## 鑑賞レポート 一覧

- 30804 「イニシエーション・ラブ」
- 32020 「ハリー・ポッター 死の秘宝 **Part 2**」
- 20418 「ビリギャル」
- 20836 「ズートピア」
- 10320 「植物図鑑 運命の恋 ひろいました」
- 10639 「レ・ミゼラブル」
- 10738 「植物図鑑 運命の恋 ひろいました」
- 10741 「ズートピア」
- 10831 「ズートピア」(日本語吹き替え版)

## 鑑賞レポート 30804

映画名「イニシエーション・ラブ」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

この話は、大きく分けて2つのストーリーがある。**side-A**では、いけない方の鈴木が登場して、合コンで出会ったマユと恋をする。2人はとても初々しさが残ったお付き合いをしていく。**side-B**では、マユとすでにつきあっているたっくんが東京に転勤することになり、遠距離恋愛になる。週に一度来るまで帰省するも、たっくんは会社先で石丸さんという女性ともつきあっている。マユを一度妊娠させてしまう。後に墮胎することになる。たっくんとマユはしだいに気持ちが離れていき、ついにたっくんがマユの名前を間違えて、石丸さんと呼んでしまう。マユはたっくんの浮気に気づくことになる。このことから、2人は別れることになる。

残り5分では、**A**と**B**のたっくんの本当の正体やマユの驚くべき行動が明かされる。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私は、映画化される前に、本でイニシエーション・ラブを読んだことがありました。しかし小説ではわかりにくかった、「残り5分でラブロマンスからミステリーに転じる」を楽しみにしていて、ずっと見たいと思っていた映画です。キャストも、松田翔太、前田敦子ととても豪華です。

**side A・B**でも鈴木の変わり様は、映画でしか見られないギャップがあり、とても意外性もあり、面白かったです。この差についても、残り15分ですべてがわかります。時代の設定が1980年代ということもあり、レトロな服装や独特の髪型がとても可愛かったです。

そしてついに大切な残り5分のストーリーについてです。なんと、鈴木であるたっくんは、2人存在したのです。生まれ変わりなどではなく、同じ時期にマユが2人とつきあっていた。つまり浮気をしてしまった**side-B**の鈴木よりもマユがずっと二股をかけていたのです。この事実が判明した瞬間は驚きがおおきく、理解出来ませんでした。徐々に頭の中が整理されてきてわかりました。1ミリも想像していなかった話の展開だったので、私はとても面白いと思いました。何よりも、とても不思議な感覚になったので、もう一度見たいなと思いました。

今月の鑑賞映画報告

イニシエーション・ラブ

評価 5/5

残り5分で話は本当にすべて覆されて想像できない方向に話が進み、とても面白かった。

近キョリ恋愛

評価 4/5

先生と生徒との少しずつ近づいていく関係が青春でとてもキュンキュンした。

## 鑑賞レポート 32020

映画名「ハリー・ポッター 死の秘宝 **Part 2**」

評価 8 / 10

ストーリー (ネタバレあり)

ハリーはまず魂のかけらがあると思い、金庫に行きます。金庫に入ろうとしたけど、受付係に止められます。しかしハリーは魔法を使って受付係の人に案内してもらいます。金庫の中に入ってしばらくすると、仲間だった奴に裏切られます。金庫を守っていたドラゴンの鎖を外して、なんとか外に出ます。次にハリーたちは、ホグワーツというところに行きます。ホグワーツ城に行くと、ハリーは髪飾りを相手のボスを倒すために破壊しました。髪飾りをこわした後に外に出ると、外は戦場になっていました。相手のボスに森に来いと言われたので、森に行きます。そこで相手に魔法をかけられて死にますが、また生き返って相手を倒しました。

鑑賞レポート (ネタバレあり)

僕は思いつきで前編のハリー・ポッターと死の秘宝 **Part 1** を見ずに、後半のハリー・ポッターと死の秘宝 **Part 2** を先に見ました。そのせいで、最初の場面が全然わかりませんでした。でも最後のほうの場面は、前編を見なくても楽しめたので良かったです。僕はハリー・ポッターシリーズは最後の方の映画とハリー・ポッターと死の秘宝 **Part 2** しか見ていないので、ハリー・ポッターを演じるダニエル・ラドクリフがいきなり年をとって少し驚きました。さらにこの映画の相手を倒してから、さらに7年後の姿を見ました。さらに年をとって子供がいてビックリしました。魔法のクオリティは前の作品より上がっていました。最後に相手とハリーが魔法のぶつけ合いをしました。その相手の攻撃とハリーの攻撃とがぶつかり合っている様子がすごかったです。最後にハリーと子供が向かい見た9と4分の3番線を見れてよかったです。

## 鑑賞レポート 20418

映画名「ビリギャル」

評価 7 / 10

ストーリー（ネタバレあり）

さやか（有村架純）は名古屋の某有名お嬢様校で中高大エスカレーター式学校に通う高校2年生。母親が中高一貫校に入れば、後は勉強はしなくてもよいと言われ、猛勉強の末、みごと中学受験に合格した。その後一切勉強をしなくなり、成績は下がる一方。高校2年生だったある日、さやかのカバンの中からたばこが見つかり、無期停学になってしまう。そのことから内部進学は厳しいと言われ、母が学習塾にさやかを連れて行った。そこで出会ったのが、講師の坪田（伊藤淳史）だった。テストの結果からさやかの知識は小4レベルとわかる。それでも坪田はさやかの素質を感じていたので、大学第一志望は慶応大学。こうしてさやかは坪田と一緒に大学合格を目指して日々奮闘する。

鑑賞レポート

この映画は **CM** などでも聞いたことがあったけど、なかなか時間がなくて観れていなかった。先日、進路説明会でこの映画が取り上げられていて、進路指導部長の畑中先生の説明が面白くて、一週間程前、時間があったので観ることにした。高校2年生という自分と同じ年齢で、受験勉強に真剣に取り組んでいて凄いなと思った。2年生になったときから、3年生の受験を見据えた勉強を、とは言われてきたけど、なかなか出来ていないのが私の今の現状だった。けど、この映画を観て、今からでも間に合うから、真剣に取り組んだら、手の届かない学校も手が届くようになるんだと思った。この映画にはもう一つ感動できる場面がある。それはさやかと両親との関係だ。慶応を目指すと言ったとき、父は猛反対し、騙されているとまで言われたが、父とは反対に母はさやかの可能性を信じて応援した。父と母との仲は不仲だったが、さやかの猛勉強の努力を目の当たりにし、少しずつ和解へと進む。この家族愛には泣いてしまった。勉強、家族についてよく考えさせられた映画だった。

映画名「ズートピア」

評価 10/10

ストーリー

動物たちが高度な文明社会を築いた世界「ズートピア」を舞台に、ウサギの女の子ジュディが夢を叶えるために奮闘する姿を描いたディズニーアニメーション。どんな動物も快適な暮らしができる環境が整えられた世界。それぞれの動物たちには決められた役割があり、農場でニンジン作りに従事するのがウサギの務めだったが、ウサギの女の子ジュディは、サイやゾウ、カバといった大きくて強い動物だけがなれる警察官に憧れていた。警察学校をトップの成績で卒業し、史上初のウサギの警察官として希望に胸を膨らませて大都会のズートピアにやってきたジュディだったが、スイギュウの署長ボゴは、そんなジュディの能力を認めてくれない。なんとかして認められようと奮闘するジュディは、キツネの詐欺師ニックと出会い、ひょんなことから、ニックとともにカワウソの行方不明事件を追うことになるのだが……。

鑑賞レポート

私はこの映画が公開になると聞いてから、ずっと見たいと思っていました。なぜならこの映画は、差別について描かれた映画だからです。主人公のウサギ・ジュディは子供の頃からの夢があります。その夢は警察官になることです。でも、警察官は、シロクマやバファローのような大きくて強い動物がなるのが常識で、小さくてかわいいウサギが警察官になるなんて、前代未聞とジュディは周りからひどく言われていました。

しかしジュディはかたよった見方や考え方を覆すように、諦めずにズートピアで初めてのウサギの警察官になります。私はこのシーンがとてもスキです。ジュディのこのたくましいところが特にスキです。そしてキツネのニックは子供の頃から「キツネは卑怯でずるがしこい」と言われ続け、その偏見を享受して、詐欺師になってしまいます。そんなある日、ニックとジュディは出会い、一緒にとある大きな事件を解決していきます。お互いに似ているところがあるというところもあり、だんだんと心を開いていきます。私はそのシーンがとてもよかったなと思いました。

この映画は本当にオススメです。いろんな人が楽しめる映画だと思います。

## 鑑賞レポート 10320

映画名「植物図鑑 運命の恋 ひろいました」

評価 10／10

ストーリー（ネタバレあり）

普通の OL の女の子、さやか（高畑充希）の前に、突然現れた謎の青年、樹（岩田剛典）。不思議な出会いから始まった2人の同居生活。でもその同居生活は「半年」という期限付きだった。野草に詳しく、料理が得意な樹に、いろいろな事を教わるさやか。最初は気まずい雰囲気だった2人だったが、一緒に過ごしていくうちに、お互いに「好き」という気持ちが積もっていく。お互いの気持ちが通じ合っていた頃、急に樹が姿を消してしまう。樹にはある「秘密」があったのだ。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私はこの作品を見て、とても感動しました。お互い好きで、やっと思いが伝わったのに、離れてしまって、お互いにさみしい思いをしていたけど、ある日、2人が再会して結ばれるところがとても感動します。

映画の中で、樹が拾ってきた野草でご飯を作るシーンがあって、コンビニ弁当ばかりの生活だったさやかの食生活はかわるだけでなく、さやかの味覚までが変わってしまって、普段食べていたお弁当がしょっぱく感じるというところがあって、味覚が変わってしまうなんてビックリしたのが印象的でした。泣あり、笑いあり、キュンキュンするシーンがたくさんある映画なので、すごくオススメなので、たくさんの人に見てもらいたい作品だなあと思いました。

今月の鑑賞映画報告

オオカミ少女と黒王子

評価 5／5

嘘から始まる恋で、ハラハラ、ドキドキ、キュンキュンでした。

植物図鑑 運命の恋 ひろいました

評価 5／5

感動的なラブストーリーでした。

映画名「レ・ミゼラブル」

評価 10/10

ストーリー

ビクトル・ユゴー原作のミュージカルをヒュー・ジャックマン主演で映画化。19世紀のフランス、一切れのパンを盗んだ罪で19年間服役したジャン・バルジャンは仮釈放されるが、生活が苦しく再び盗みを働く。しかし司教の真心に打たれて改心。名前をかえて事業にて成功を収め、やがて市長にまで上り詰める。そんなジャン・バルジャンにジャベール警部の追跡の手が迫る。

BS プレミアム番組詳細参照

鑑賞レポート

私が初めてレ・ミゼラブルを知ったのは、母の影響です。母は、今から30年前に東京の帝国劇場で、レ・ミゼラブルのミュージカルを見て大変感動し、忘れられないそうです。レ・ミゼラブルの映画は今までも多数製作されてきましたが、ミュージカルでの映画化は出来ないと言われていました。しかし、この作品で初めてそれが実現しました。

ミュージカルの音楽は、レ・ミゼラブルのコンサートがロンドンで公演されていたものをテレビで見たことがあったので、初めて音楽を聴くと言うわけではありませんでした。

私が一番気に入っている歌は、今作では、ジャン・バルジャン役のヒュー・ジャックマンが歌う“Who am I”です。「私はいったい誰だ」一切れのパンを盗み、19年投獄されて、その後、身分を隠して市長にまで成り上がったジャン・バルジャン。しかし、自分の代わりに1人の罪のない男が処罰されてしまう。このままでいいのか？このまま黙っていたらいい。この男に罪をなすりつけなければいい。だが、やはりできない。それだけではできない。ジャン・バルジャンの葛藤を演じるヒュー・ジャックマンの力強い気迫に私は圧倒されました。いつか、レ・ミゼラブルをミュージカルでも見てみたいです。

今月の鑑賞映画報告

閉ざされた森

評価 3 / 5

サスペンス映画。難解なストーリーだったが、筋が通っているようで、通っていない話だった。ラストシーンで感じた脱力・無気力感はとてつもなかった。

バードマン あるいは無知がもたらす予期せぬ奇跡

評価 2 / 5

アカデミー作品賞受賞作。内容をあえてわかりにくく、理解しずらくしている、近年よく見られる作風。私にはまだ早すぎる映画だったのかもしれない。評価は人によって大分変わると思う。

レ・ミゼラブル

評価 5 / 5

犬神家の一族

評価 5 / 5

とにかく、金田一耕助シリーズは、死体の配置の仕方が秀悦。日本を代表できる映画だと思う。

ハングオーバー！消えた花ムコと史上最悪の二日酔い

評価 / 5

くだらないと思う人もいると思うが、自分はとても気に入っている。卑猥な描写もけっこう気に入っている。

ウォーター・ワールド

評価 3 / 5

ケヴィン・コスナーには、もう少しダークで、暗いヒーローを演じて欲しかった。物語終盤では、完全にキレイな男になっていた。お金は凄くかかっていたそうだった。

## 鑑賞レポート 10738

映画名「植物図鑑 運命の恋 ひろいました」

評価 10/10

ストーリー (ネタバレあり)

25歳で一人暮らしをしている河野さやかは、ある日マンションのポーチの植え込みに倒れていた25歳の男、樹を発見する。樹は「お嬢さん、よかったら僕を拾ってくれませんか。咬みません。躰のできたよい子です。」とさやかに頼む。酔っていたさやかは、その言い方がツボに入って自宅に泊めてあげることを決める。さやかが名前を聞くと、男は笑いながら「樹 (イツキ)。名字はキライだから言わない。」と言う。こうして、どこか秘密のありそうなイケメン、樹との共同生活が始まった。

鑑賞レポート (ネタバレあり)

私は、映画を見るのが好きで、テレビでやっていた植物図鑑の予告を見て、おもしろそうだったので、友達と映画館に見に行きました。

始めは何も考えずに映画を見ていたけど、さやかと樹の関係が変わっていくと同時に樹の秘密もあきらかになってきて、最終的に樹の将来を変えたのはさやかだということがわかって、私は今まで赤の他人だった人が自分の将来や人生をかえることがあるということを知りました。

この映画は、樹とさやかの恋の行方や樹の秘密があきらかになる面白さもあれば、ある理由でさやかの前から樹が消えてしまって感動する場面があったり、見る人によっていろいろなことを考えさせられる映画だと思います。それに、樹がさやかのために雑草をつかった料理を作るところも見所の1つだと思います。

今月の鑑賞映画報告

オオカミ少女と黒王子

評価 4 / 5

おもしろかった。

植物図鑑

評価 5 / 5

最後の部分がすごく感動した。

## 鑑賞レポート 10741

映画名「ズートピア」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

警察官を目指す1匹のウサギ・ジュディがいた。だが両親はニンジン作りをすべきと反対し、ウサギが警察官になることをととてもバカにし、ジュディをいじめるキツネもいた。ジュディはその動物たちのことは気にせず、ウサギ初の警察官になった。でも、ウサギだからといって駐車違反の取り締まりしか命じられなかった。不満を感じていたジュディは詐欺師のキツネ、ニックと出会い、同じ警察署で働いている動物たちがいつまでたっても解決できない事件を2人で勝手に捜査をする。のちのち署長にバレ、「48時間以内に解決できなければクビ!!」と言われ、2人で協力し合い、ときには失敗し、ドキドキハラハラのストーリーです。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私はもともとディズニー映画が大スキで、今回映画館まで見に行きました。私が一番良かったと思うところはジュディとニックがおたがい過去のトラウマを言い合って再スタートのように2人で協力しあって、事件を解決していくところです。本当はこの時2人は良い方法がなく、途方に暮れていました。このときの2人の悲しむ感じから再スタートをするまでの切り替えが早くて感動しました。このとき、トラウマを話し合わなければ、切り替えも出来なかったし、事件を解決することも出来なかったと思います。

そして、一番面白かったところは、免許センターでのナマケモノでした。しゃべることから動作まですべてがとてもスローペースで、ジュディとニックの用が終わって帰ろうとしていた時には、もう夜だったところです。とても優しいジュディでさえ、とても腹を立ててました。でもそんなナマケモノが最後にはありえないぐらいのスピードの出し過ぎで捕まってしまいます。このときの面白さは最高でした。映画館の中が笑いでいっぱいになりました。私はもう一度見てみたいなと思い、この映画には笑い、感動いろいろな感情が含まれていると思います。

今月の鑑賞映画報告

ズートピア 評価 5 / 5

1つ1つのキャラクターがちがうおもしろさでとても面白い映画でした。

ランゴ 評価 3 / 5

面白い部分もあったが、英語がなまってて暗くて少し残念でした。

**Herbie : Fully Loaded** 評価 3 / 5

車の感情の出し方がかわいくて興味深かったです。

モンスターズ・ユニバーシティ 評価 4 / 5

幼いときの映像が出て、とてもかわいかったです。

**Bad Hair Day** 評価 4 / 5

最悪なストーリーだなあと思いました。

スマーフ2 アイドル救出大作戦!! 評価 4 / 5

スマーフ1を見てからじゃないと面白くないなと思いました。

英語の映画はすべて字幕なしの英語音声のみで鑑賞しています。（映画館では字幕付きで見えています。）

## 鑑賞レポート 10831

映画名「ズートピア」(日本語吹き替え版)

評価 9 / 10

ストーリー (ネタバレあり)

昔は肉食、草食と分けられていた世界から発達していった世界で、主人公であるウサギのジュディ・ホップスが警察官をめざし、無事夢を叶え、憧れの街である『ズートピア』へ。そこで詐欺師をしていたキツネのニック・ワイルドと出会い一度は別れるが、ポップスが連続行方不明事件の捜査をたくされ、その手伝いをニックがまかされ、2人の仲が良くなっていき、最後には無事行方不明者も助かります。

鑑賞レポート (ネタバレあり)

主人公のポップスは草食動物だという理由で夢である「警察官にはなれない」と親などに言われてしまうけど、あきらめないで警察学校で人一番努力をしてウサギとして初めての警察官になることができました。私も将来は看護師なりたいと思っているけど、理数がとても弱いので、ポップスのように努力して夢を叶えたいです。それから、物語の中盤でポップスとキツネのニックがあることをきっかけに、一気に仲良くなる所があり、私はそこが一番良いなと思ったのでオススメしたいです。終盤の方では『肉食動物だから危険』というレッテルが貼られてしまい、そのことでポップスとニックも仲たがいしてしまうけど、最後には2人で協力していくところを見て、私も今仲が良い友達とは一度ぶつかりあっているのだからやっぱり一度はそういうことがあっても、やはり、良いものだと思っています。ズートピアでは友達とのことや頑張ることがわかる映画でした。

今月の鑑賞映画報告

ハリー・ポッター 不死鳥の騎士団 評価 4 / 5

何度見ても感動するし、面白いです。

ズートピア (日本語吹き替え版) 評価 5 / 5

感動と癒やしでした。

ハリー・ポッター 死の秘宝 Part 1 評価 3 / 5

最後のクライマックスへの展開が面白かったです。

ハリー・ポッター 死の秘宝 Part 2 評価 4 / 5

最後にどうなるのか、ハラハラ、ドキドキでした。